

2

午 後

(2019 年 8 月 4 日 13 時 30 分～15 時 30 分)

問 題

◎ 指示があるまで開かないでください。

注 意 事 項

1. 午後の試験問題の数は 77 問で、解答時間は正味 2 時間 00 分です。
2. 受験番号等の解答用紙への記入方法

はじめに、受験票に貼付されている受験番号シールを解答用紙左上の【シール貼付欄】に貼付してください。次に中央の欄に受験番号を、一番右の欄に氏名を HB の鉛筆又はシャープペンシルを使用して記入してください。

(例) 受験番号 0A-0001 の場合

シール貼付欄	 0A-0001	受験番号 0 A - 0 0 0 1	氏名 心 理 花 子
--------	---	-----------------------	---------------

3. 解答方法

- (1) 各問題には①から④までの 4 つの選択肢又は①から⑤までの 5 つの選択肢があります。問題に対応した選択肢を[例 1]及び[例 2]では 1 つ、[例 3]では 2 つを選び、解答用紙に記入してください。
- (2) [例 1]及び[例 2]の問題に 2 つ以上解答した場合は、誤りになります。
[例 3]の問題に 1 つ又は 3 つ以上解答した場合は、誤りになります。

[例 1] 公認心理師として活動することができるのはいつか、正しいものを 1 つ選べ。

- | | |
|---|---------------------------|
| ① 公認心理師試験受験日以降
② 合格発表日以降
③ 資格申請日以降
④ 公認心理師登録簿への登録日以降 | 正解は④であるから解答用紙の④をマークすればよい。 |
|---|---------------------------|

解答用紙 A の場合

1	①	②	③	④
↓				
1	①	②	③	●

解答用紙 B の場合

1	1
①	①
②	②
③	③
④	●

【例 2】公認心理師の責務を定めている法律について、正しいものを 1 つ選べ。

① 医療法 正解は④であるから解答用紙の④をマークすればよい。

② 医療観察法

解答用紙 A の場合

解答用紙 B の場合

③ 社会福祉法

④ 公認心理師法

⑤ 精神保健福祉法

2	①	②	③	④	⑤
↓					
2	①	②	③	●	⑤

2	①	②	③	④	⑤
→					
2	①	②	③	●	⑤

【例 3】公認心理師登録簿に登録される項目について、正しいものを 2 つ 選べ。

① 氏名 正解は①と⑤であるから解答用紙の①と⑤にマークすればよい。

② 年齢

解答用紙 A の場合

解答用紙 B の場合

③ 電話番号

④ 卒業年月日

⑤ 登録年月日

3	①	②	③	④	⑤
↓					
3	●	②	③	④	●

3	①	②	③	④	⑤
→					
3	●	②	③	④	●

(3) 解答は全てマークシート形式です。採点は、光学式文字読取装置によって行います。解答用紙への記入は HB の鉛筆又はシャープペンシルを使用してください。ボールペンは使用できません。また、例のように○をはみ出さないように、濃く塗りつぶしてください。

良い例 … ●

悪い例 … ●○●●●● (←読取りができないため、解答になりません。)

4. 一度解答した問題を訂正する場合は、プラスチック消しゴムで消し残りのないように完全に消してください。鉛筆の跡が残っていたり、上から二重線などで消した場合は、訂正したことにはなりませんので注意してください。

5. 解答は、時間内に解答用紙に記入してください。試験時間終了後に記入した場合は、無効となります。また、問題冊子に直接記入しても採点されません。

◎ 指示があるまで開かないでください。

問78 生物心理社会モデルについて、適切なものを1つ選べ。

- ① スピリチュアリティを最も重視するモデルである。
- ② クライエントを包括的に理解する上で有用なモデルである。
- ③ 医療技術の高度化を促進するために考案されたモデルである。
- ④ 生物生態学的モデルへの批判を背景に生まれたモデルである。
- ⑤ クライエントの健康や疾病に責任を持つのは医療従事者とみなすモデルである。

問79 基本感情のうちの怒りについて、適切なものを1つ選べ。

- ① 敵意帰属バイアスは、怒りの喚起を抑制する。
- ② パラノイド認知の性格傾向のある人は怒りを生じにくい。
- ③ 進化論の観点からは、怒りは自然淘汰上の有利さをもたらす。
- ④ 怒りの表情に対する認知については、異文化間での共通性はない。
- ⑤ タイプCパーソナリティの人は怒りを含むネガティブ感情を表出しやすい。

問80 1 要因分散分析の帰無仮説として、正しいものを1つ選べ。

- ① 全ての水準の母平均は等しい。
- ② 全ての水準間の母分散は等しい。
- ③ 全ての水準の母平均は等しくない。
- ④ 少なくとも1組の水準間の母平均は等しい。
- ⑤ 少なくとも1組の水準間の母平均は等しくない。

問81 運動視に関連した現象として、正しいものを1つ選べ。

- ① McGurk 効果
- ② マッハバンド
- ③ 変化の見落とし
- ④ McCollough 効果
- ⑤ フラッシュラグ効果

問82 動物を対象とした研究において、うつ状態に関連する現象として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 負の強化
- ② 学習性無力感
- ③ 嫌悪条件づけ
- ④ 受動的回避学習
- ⑤ 代理的条件づけ

問83 視床下部－下垂体系の解剖と生理について、正しいものを1つ選べ。

- ① 視床下部のニューロンの一部は下垂体前葉に軸索を送る。
- ② 視床下部は下垂体後葉ホルモンの分泌を制御するホルモンを産生する。
- ③ 視床下部で産生されたホルモンは下垂体門脈によって下垂体に運搬される。
- ④ 視床下部から分泌されるソマトスタチンは下垂体からの成長ホルモンの分泌を促進する。
- ⑤ 血液中の副腎皮質刺激ホルモンの濃度が上昇すると、視床下部に対する負のフィードバックが低下する。

問84 脳損傷後に記憶障害を呈する者に対して、スケジュール管理のためのメモリーノートの使用を勧めることがある。これに該当するリハビリテーション手法として、正しいものを1つ選べ。

- ① 環境調整
- ② 反復訓練
- ③ 外的代償法
- ④ 内的記憶戦略法
- ⑤ 領域特異的知識の学習

問85 R. L. Selman による役割取得(社会的視点取得)の発達段階のうち、自他の視点の両方を考慮する第三者的視点をとれるようになる段階として、正しいものを1つ選べ。

- ① 相互役割取得の段階
- ② 主観的役割取得の段階
- ③ 自己中心的役割取得の段階
- ④ 自己内省的役割取得の段階
- ⑤ 象徴的相互交渉の役割取得の段階

問86 ディスレクシアに関する説明として、正しいものを1つ選べ。

- ① 限局性学習症に含まれる。
- ② 読み書き不能の状態である。
- ③ 言語発達に問題はみられない。
- ④ 音読はできるが理解ができない。
- ⑤ 読みの速度は速いが不正確である。

問87 知能検査における Flynn 効果について、正しいものを1つ選べ。

- ① 中高年ではみられない。
- ② 平均 IQ が徐々に低下する現象である。
- ③ 欧米諸国では効果が認められていない。
- ④ ウェクスラー式知能検査のみで検出される。
- ⑤ 流動性知能は結晶性知能より、この効果の影響を強く受ける。

問88 乳児院に一時保護された1歳半の幼児の認知・言語機能を評価する心理検査として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① WPPSI-Ⅲ
- ② 日本語版 KABC-Ⅱ
- ③ 田中ビネー知能検査Ⅴ
- ④ ベンダー・ゲシュタルト検査
- ⑤ 遠城寺式乳幼児分析的発達検査

問89 認知症の高齢者への回想法について、正しいものを1つ選べ。

- ① 行動の変容を目標とする。
- ② 個人面接では実施しない。
- ③ 昔の物品を手掛かりにする。
- ④ 一定の間隔をあけて繰り返す。
- ⑤ 認知に焦点を当てたアプローチである。

問90 精神障害回復者社会復帰訓練事業におけるデイケアでの利用者ミーティングの運営について、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 原則として挙手により発言者を募る。
- ② 決められた全時間の参加を義務づける。
- ③ 利用者同士の関わりは最小限度にする。
- ④ 司会担当者は利用者の発言を止めてはならない。
- ⑤ 会話だけでなくホワイトボードや紙に書いて伝達する。

問91 自閉スペクトラム症／自閉症スペクトラム障害〈ASD〉について、正しいものを1つ選べ。

- ① 男性よりも女性に多い。
- ② 知的障害を伴うことはない。
- ③ 精神障害者保健福祉手帳の対象ではない。
- ④ 放課後デイサービスの給付対象ではない。
- ⑤ 感覚過敏はDSM-5の診断基準の中に含まれている。

問92 解離性障害について、正しいものを1つ選べ。

- ① 自殺企図との関連は乏しい。
- ② 心的外傷との関連は乏しい。
- ③ 半数以上に交代性人格を伴う。
- ④ てんかんと鑑別が必要である。
- ⑤ 治療の方針は失われた記憶を早期に回復させることである。

問93 注意欠如多動症／注意欠如多動性障害〈AD/HD〉の二次障害について、正しいものを1つ選べ。

- ① 素行障害が出現しやすい。
- ② 気分障害の合併率は5%以下である。
- ③ ペアレント・トレーニングは効果がない。
- ④ 精神分析的心理療法は治療の第一選択である。
- ⑤ 養育環境は二次障害の発症や程度に影響しない。

問94 適性処遇交互作用の説明として、正しいものを1つ選べ。

- ① 学習者の適性は遺伝と環境の相互作用によって形成される。
- ② 学習成果は教授法などの学習条件よりも学習者の適性によって規定される。
- ③ 教授法などの学習条件と学習者の適性の組合せによって学習成果が異なる。
- ④ 困難な学習課題であるほど、学習成果は教授法などの学習条件よりも学習者の適性によって規定される。
- ⑤ 容易な学習課題であるほど、学習成果は教授法などの学習条件よりも学習者の適性によって規定される。

問95 自殺予防に対する公認心理師の対応や判断として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 自殺をしようと計画する人は、死ぬことを決意している。
- ② 自殺の危機が緩和されるまで、心理の深層を扱うような心理療法を継続する。
- ③ 公認心理師がクライアントと自殺について話をすると、自殺行動を引き起こすことになる。
- ④ 自殺が1つの選択肢であるという考えを一旦受容し、自殺が正しい判断ではないことを確認する。
- ⑤ クライアントが自殺について語るときは、注意を引きたいだけであるため、実際に自分自身を傷つけることはない。

問96 学校における生徒指導に関する説明で、正しいものを1つ選べ。

- ① 教育相談の一環として行われる。
- ② 小学校に生徒指導主事を置かなければならない。
- ③ 問題や課題のある特定の子どもに対して行われる。
- ④ 学習指導要領には、生徒指導が位置づけられている。
- ⑤ 非行や暴力、反抗などの反社会的行動を修正することである。

問97 大学における合理的配慮について、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 合理的配慮の妥当性の検討には、医師の診断書が必須である。
- ② 合理的配慮の内容は、授業担当者の個人の判断に任されている。
- ③ 合理的配慮は学生の保護者又は保証人の申出によって検討される。
- ④ 合理的配慮の決定手続は学内規程に沿って組織的に行うべきである。
- ⑤ 意思決定が困難な学生への合理的配慮は、意思確認を行わず配慮する側の責任で行う。

問98 非行の要因に関する T. Hirschi の社会的絆理論について、正しいものを1つ選べ。

- ① 個人に対する社会的絆が弱くなったときに非行が発生すると考える。
- ② 親による子どもの直接的統制は、社会的絆の重要な源泉の1つである。
- ③ 社会的絆理論の基本的な問いは、「なぜ人は逸脱行動をするのか」である。
- ④ 友人への愛着が強い少年が、より非行を起こしやすいと考えられている。
- ⑤ 社会的絆の1つであるコミットメントとは、既存の社会的枠組みに沿った価値や目標達成に関わる度合いを意味する。

問99 E. H. Schein が提唱した概念で、職務の遂行にあたって、何が得意なのか、何によって動機づけられるのか、及び仕事を進める上で何に価値を置いているのかについての自分自身の認識のパターンのことを何とというか、正しいものを1つ選べ。

- ① キャリア・ラダー
- ② キャリア・アンカー
- ③ キャリア・プラトー
- ④ キャリア・アダプタビリティ
- ⑤ ライフ・キャリア・レインボー

問100 ナルコレプシーについて、正しいものを1つ選べ。

- ① 入眠時に起こる幻覚が特徴である。
- ② 治療には中枢神経遮断薬が用いられる。
- ③ 脳脊髄液中のオレキシン濃度の上昇が特徴である。
- ④ 笑いや驚きによって誘発される睡眠麻痺が特徴である。
- ⑤ 耐え難い眠気による睡眠の持続は通常2時間から3時間である。

問101 妊娠・出産とうつ病の関連について、適切なものを1つ選べ。

- ① 産後うつ病は産後1週間以内に発症しやすい。
- ② 産後うつ病は比較的軽症であり、自殺の原因となることは少ない。
- ③ 抗うつ薬を服用している女性が妊娠した場合、直ちに服薬を中止する。
- ④ エジンバラ産後うつ病質問票〈EPDS〉の得点が低いほどうつ病の可能性が高い。
- ⑤ 妊娠中のうつ病のスクリーニングにもエジンバラ産後うつ病質問票〈EPDS〉が用いられる。

問102 学校での支援において医療機関との連携が必要な事例として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 小学3年生の男児。粗暴で級友とのトラブルが多い。父親からの虐待が疑われる。
- ② 小学5年生の男児。忘れ物が多く、気が散りやすい。順番を待てずに他児を蹴るなど、トラブルが多い。
- ③ 中学1年生の女子。しばしば腹痛を訴え、保健室を訪れる。級友からの無視や嫌がらせがある。
- ④ 中学2年生の女子。不登校。インターネットで知り合った成人男性との性的関係が疑われる。
- ⑤ 中学3年生の男子。授業中の居眠り。夜遅くまで、高校生の友人とゲームセンターで遊んでいる。

問103 成年後見制度について、正しいものを1つ選べ。

- ① 成年被後見人であっても選挙権は制限されない。
- ② 医療保護入院は補助人の同意によって行うことができる。
- ③ 成年後見人に選任される者は、弁護士又は司法書士に限られる。
- ④ 法定後見は簡易裁判所の審判により成年後見人等が選任される。
- ⑤ 保佐人は被保佐人が行った食料品の購入を取り消すことができる。

問104 労働者の心の健康の保持増進のための指針について、正しいものを1つ選べ。

- ① 事業者は、職場のメンタルヘルスケアを実施しなければならない。
- ② 事業者は、事業場以外で労働者の私的な生活に配慮しなければならない。
- ③ 個人情報保護の観点から、人事労務管理とは異なる部署でのケアが望ましい。
- ④ 労働者の心の健康問題についてケアを行う場合は、客観的な測定方法に基づかなければならない。
- ⑤ 事業者は、メンタルヘルスケアを実施するにあたり、事業場の現状とその問題点を明確にし、基本的な計画を策定する必要がある。

問105 小学5年生のある学級の校外学習において、児童が1名死亡し、複数の児童が怪我を負うという交通事故が起こった。事故後4日が経過した時点で、学級会で公認心理師が話をするようになった。

公認心理師の行動として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 全員から今の心境や思いを話してもらい傾聴する。
- ② 全員が強いトラウマを受けていることを前提として話をする。
- ③ 悲しみや怒りが一定期間続くことは自然なことであると伝える。
- ④ 全員がこの悲しい出来事に対処できる力を持っていると伝える。
- ⑤ 軽傷で済んだ児童に、生きていて本当に良かったと言葉をかける。

問106 自殺の予防の観点から、自殺のリスクが最も低い因子を1つ選べ。

- ① 精神障害
- ② 自殺企図歴
- ③ 中年期の女性
- ④ 社会的支援の欠如
- ⑤ 自殺手段への容易なアクセス

問107 公認心理師の業務として、公認心理師法第2条に定められていないものを1つ選べ。

- ① 保健医療、福祉、教育等の関係者等との連携を保つ。
- ② 心の健康に関する知識の普及を図るための教育及び情報の提供を行う。
- ③ 心理に関する支援を要する者の心理状態を観察し、その結果を分析する。
- ④ 心理に関する支援を要する者の関係者に対し、その相談に応じ、助言、指導その他の援助を行う。
- ⑤ 心理に関する支援を要する者に対し、その心理に関する相談に応じ、助言、指導その他の援助を行う。

問108 共同注意行動の例として、誤っているものを1つ選べ。

- ① 指さし(pointing)
- ② クーイング(cooing)
- ③ 参照視(referential looking)
- ④ 相手に物を手渡す行動(giving)
- ⑤ 相手に物を見せる行動(showing)

問109 A. Thomas と S. Chess らによって行われた「ニューヨーク縦断研究」で見出された9つの気質に含まれないものを1つ選べ。

- ① 外向性
- ② 順応性
- ③ 活動水準
- ④ 接近・回避
- ⑤ 気の散りやすさ

問110 J. Belsky のモデルにおいて、親の養育行動に直接影響するものとして、不適切なものを1つ選べ。

- ① 学歴
- ② 仕事
- ③ 夫婦関係
- ④ 子どもの特徴
- ⑤ 社会的交友・支援関係

問111 I. D. Yalom らの集団療法の治療要因について、誤っているものを1つ選べ。

- ① 他者を援助することを通して、自己評価を高める。
- ② 他のメンバーを観察することを通して、新たな行動を学習する。
- ③ 集団との一体感を覚えることで、メンバー相互の援助能力を高める。
- ④ 現在と過去の経験についての強い感情を抑制することで、コントロール力を高める。
- ⑤ 他者も自分と同じような問題や悩みを持っていることを知り、自分だけが特異ではないことに気づく。

問112 心理療法の有効性の研究について、誤っているものを1つ選べ。

- ① 介入期間が定められる。
- ② 介入マニュアルが必要とされる。
- ③ 単一の理論に基づく心理療法が用いられる。
- ④ クライエントが抱える多様な問題に焦点を当てる。
- ⑤ クライエントは無作為に介入群と対照群に割り付けられる。

問113 更生保護の業務及び制度として、誤っているものを1つ選べ。

- ① 収容期間を満了して矯正施設を出所した人に対する緊急の保護制度
- ② 心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った人に対する医療観察制度
- ③ 社会内処遇を円滑にするための地域社会の理解や協力を求める犯罪予防活動
- ④ 施設内処遇を受けている人を収容期間満了前に社会内処遇を受けさせる仮釈放制度
- ⑤ 緊急通報への迅速な対応ができるように地域的に定められた範囲を巡回監視する活動

問114 採用面接において面接者が陥りやすい心理として、誤っているものを1つ選べ。

- ① 対比効果
- ② 寛大化傾向
- ③ ハロー効果
- ④ ステレオタイプ
- ⑤ ブーメラン効果

問115 糖尿病について、誤っているものを1つ選べ。

- ① うつ病発症のリスクを高める。
- ② 認知症発症のリスクを高める。
- ③ 勃起不全発症のリスクを高める。
- ④ 肥満は1型糖尿病の発症リスクを高める。
- ⑤ 加齢は2型糖尿病の発症リスクを高める。

問116 ベンゾジアゼピン受容体作動薬の副作用として、誤っているものを1つ選べ。

- ① 依存
- ② 健忘
- ③ せん妄
- ④ ふらつき
- ⑤ ジストニア

問117 生活困窮者自立支援制度に含まれないものを1つ選べ。

- ① 医療費支援
- ② 家計相談支援
- ③ 就労準備支援
- ④ 子どもの学習支援
- ⑤ 住居確保給付金の支給

問118 教育委員会が行う児童生徒に対する出席停止措置について、誤っているものを1つ選べ。

- ① 出席停止は児童生徒本人に対して命じられる。
- ② 出席停止を命ずる前に、保護者の意見を聴取する。
- ③ 出席停止の理由及び期間を記載した文書を保護者に交付する。
- ④ 出席停止は、公立の小学校、中学校及び義務教育学校に限られている。
- ⑤ 出席停止は学校の秩序を守り、他の児童生徒の学習権を保障するために行う。

問119 ストレス反応について、誤っているものを1つ選べ。

- ① 身体的ストレス反応は、中枢神経系に引き続き内分泌系に現れる。
- ② 身体的ストレス反応には、交感神経系と副交感神経系の両方が関わる。
- ③ 心身症とは、発症や経過に身体的ストレス反応が関わる身体疾患である。
- ④ ストレッサーの種類によって、心身に生じるストレス反応の内容も決まる。
- ⑤ 心理的ストレス反応には、抑うつ、不安、怒りなどのネガティブな感情が含まれる。

問120 公認心理師がクライアントに対して心理的支援を続行できないときの対応として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 急病のため、クライアントへの面接の代行を同僚に依頼した。
- ② 画一的な対応を避けるため、不在時の対応マニュアルの作成への協力を控えた。
- ③ 産前・産後休業を取るにあたって、クライアントと今後の関わりについて相談した。
- ④ 職場の異動に伴い担当者が交代したことを新しい担当者がクライアントに説明した。

問121 公認心理師に求められるスーパービジョンについて、最も適切なものを1つ選べ。

- ① スーパーバイザーとスーパーバイジーの関係は対等である。
- ② スーパーバイザーはスーパーバイジーへの心理療法を行うべきではない。
- ③ スーパーバイザーはスーパーバイジーが行う心理的支援の実践上の責任を負う。
- ④ スーパービジョンとはスーパーバイザーとスーパーバイジーが1対1で行うものをいう。

問122 準実験的研究法の特徴として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 予備実験に用いられることが多い。
- ② 実験的研究に比べて、内的妥当性が高い。
- ③ 実験的研究に比べて、倫理基準が緩やかである。
- ④ 参加者を無作為に割り付けることができないときに実施が検討される。

問123 知能検査を含む集団式の能力テストについて、適切なものを1つ選べ。

- ① 個別で実施することはできない。
- ② 第二次世界大戦を機に兵士の選抜のために開発された。
- ③ 学校での成績の予測妥当性は相関係数にして0.60を超える。
- ④ 学習障害や発達の遅れのスクリーニングとして使うことができる。

問124 ギャンブル等依存症について、正しいものを1つ選べ。

- ① 本人の意思が弱いために生じる。
- ② パーソナリティ障害との併存はまれである。
- ③ 自助グループに参加することの効果は乏しい。
- ④ 虐待、自殺、犯罪などの問題と密接に関連している。

問125 病院において、公認心理師が医師から心理検査を含むアセスメントを依頼された場合、その結果を報告する際の留意点として、不適切なものを1つ選べ。

- ① 依頼された際の目的に応えられるように、情報を整理し報告する。
- ② 心理的側面のみでなく、生物学的側面や社会環境も統合して報告する。
- ③ クライエントの処遇や治療方針を決めるための参考になるよう配慮する。
- ④ 心理検査の結果を他の情報と照合することはせず、心理検査からの客観的報告にとどめる。

問126 クライアントに関する情報提供が秘密保持義務よりも優先される状況について、適切なものを2つ選べ。

- ① クライアントが虐待されていることが疑われる場合
- ② クライアントに直接関係ない専門家の研修会で事例として取り上げる場合
- ③ 成人のクライアントについて、一親等の家族から情報開示の請求がある場合
- ④ クライアントとの面接で、誹謗中傷される相手が特定できる可能性がある場合
- ⑤ クライアントが自分自身の精神状態や心理的な問題に関連して訴訟を起こし、その裁判所から要請がある場合

問127 対人魅力について、適切なものを2つ選べ。

- ① 相手からの評価や好意が対人魅力に影響を与える。
- ② 相手との物理的距離が大きいほど対人魅力につながる。
- ③ 容貌などの身体的特徴は対人魅力に影響を与えることはない。
- ④ 相互作用を伴わない単なる接触の繰り返しが対人魅力につながる。
- ⑤ 性格が自分と類似した相手より相違点が多い相手に対人魅力を感じやすい。

問128 J. Piaget の発達段階説について、正しいものを 2つ 選べ。

- ① 発達段階は個人によってその出現の順序が入れ替わる。
- ② 感覚運動期の終わり頃に、延滞模倣が生じる。
- ③ 前操作期に入ると、対象の永続性に関する理解が進む。
- ④ 形式的操作期に入ると、仮説による論理的操作ができるようになる。
- ⑤ 具体的操作期に入ると、イメージや表象を用いて考えたり行動したりできるようになる。

問129 PECS の説明として、正しいものを 2つ 選べ。

- ① 質問への応答から指導を始める。
- ② 応用行動分析の理論に基づいている。
- ③ 身振りを意思伝達的手段として用いる。
- ④ 補助代替コミュニケーションの一種である。
- ⑤ 自閉スペクトラム症／自閉症スペクトラム障害〈ASD〉ではない子どもに、より効果的である。

問130 田中ビネー知能検査Ⅴの実施と解釈について、正しいものを2つ選べ。

- ① 2歳から18歳11か月まで適用が可能である。
- ② 生活年齢〈CA〉より1歳低い年齢級の課題から検査を始める。
- ③ 13歳以下では、精神年齢〈MA〉から知能指数〈IQ〉を算出する。
- ④ 各年齢級の問題で1つでも合格できない問題があれば、下の年齢級に下がる。
- ⑤ 14歳以上では「言語理解」、「作動記憶」、「知覚統合」及び「処理速度」の4分野について、偏差知能指数〈DIQ〉を算出する。

問131 二次予防の取組として、適切なものを2つ選べ。

- ① がん検診
- ② 健康教育
- ③ 作業療法
- ④ 予防接種
- ⑤ 人間ドック

問132 知的障害のある子どもへの対応方針について、適切なものを2つ選べ。

- ① 失敗体験を積み重ねて失敗に慣れさせる。
- ② スモールステップでできることを増やす。
- ③ 得意な面よりも苦手な面を優先して指導する。
- ④ 社会生活に必要な技能や習慣を身に付けさせる。
- ⑤ 具体的な活動よりも抽象的な内容の理解を重視する。

問133 物質使用障害について、正しいものを2つ選べ。

- ① コカインは身体依存性が強い。
- ② ヘロインは身体依存性が強い。
- ③ 大麻はドパミン受容体を介して多幸作用を生じる。
- ④ モルヒネはオピオイド受容体を介して興奮作用を生じる。
- ⑤ 3,4-メチレンジオキシメタンフェタミン〈MDMA〉はセロトニン遊離増加作用を介して幻覚を生じる。

問134 親権について、正しいものを2つ選べ。

- ① 親権には財産管理権は含まれない。
- ② 民法には親権喪失及び親権停止が規定されている。
- ③ 児童相談所の一時保護には親権者の同意は必要でない。
- ④ 里親に委託措置をする場合、親権者の同意は必要でない。
- ⑤ 児童養護施設に入所措置する際、親権者の同意は必要でない。

問135 犯罪被害者等基本法について、正しいものを2つ選べ。

- ① 犯罪等とは、犯罪及びこれに準ずる心身に有害な影響を及ぼす行為を指し、交通事故も含まれる。
- ② 犯罪被害者等とは、犯罪等により害を被った者及びその家族又は遺族であり、日本国籍を有する者をいう。
- ③ 犯罪被害者等基本計画の案を作成するなどの事務をつかさどる犯罪被害者等施策推進会議は、内閣府に置く。
- ④ 犯罪被害者等のための施策とは、犯罪被害者等が、その受けた被害を回復し、社会に復帰できるための支援の施策である。
- ⑤ 犯罪被害者等のための施策は、警察等刑事司法機関に事件が係属したときから、必要な支援等を受けることができるよう講ぜられる。

問136 網膜像差が奥行き知覚手掛かりとして有効であるかを検討する目的で実験を行った。網膜像差が0分、6分、12分、18分の4種類からなるランダムドットステレオグラムを各実験参加者にランダムな順序で呈示した。実験参加者はランダムドットステレオグラムを観察し、実験者から渡されたノギスを用いて見かけの奥行き量を再生した。

この実験データから網膜像差の4つの条件で再生された奥行き量の平均に差があるかを検討するための統計的方法として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 対応のある1要因分散分析
- ② 対応のある4要因分散分析
- ③ 対応のない1要因分散分析
- ④ 対応のない4要因分散分析
- ⑤ 対応のある2標本の平均の差の検定

問137 18歳の女性 A、大学生。サークルに入部して1か月がたった頃、A はいつも集合時間に遅刻するため、副部長の B から注意を受けた。そのことをきっかけに B を怖いと思うようになった。その後、忘れ物をした部員に B が注意している場面を偶然見かけ、B はいつも怒っているので怖いという思いが強くなった。実際には、B が部員を優しく励ましたり、場の雰囲気や和ませる発言をしたりする場面も見たことがあるが、そのことは A の印象には残っていなかった。やがて A は「B がいるからサークルに行きたくない」と言い、サークルを休むことが多くなってきた。

このような A の心理的特徴として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 錯誤相関
- ② 確証バイアス
- ③ 自己評価維持モデル
- ④ スポットライト効果
- ⑤ 利用可能性ヒューリスティック

問138 25歳の男性 A、会社員。3か月前にバイク事故により総合病院の救命救急センターに搬入された。意識障害はなく、胸髄損傷による両下肢完全麻痺と診断された。2週間前、主治医から A に、今後、両下肢完全麻痺の回復は期待できないとの告知がなされた。その後 A はふさぎこみ、発語が少なくなったため、主治医から院内の公認心理師 B に評価及び介入の依頼があった。B が訪室すると A は表情がさえず、早朝覚醒と意欲低下が認められた。

このときの B の対応として、最も優先度が高いものを1つ選べ。

- ① 神経心理学的検査を行う。
- ② 障害受容プロセスを話題にする。
- ③ アサーション・トレーニングを導入する。
- ④ 脊髄損傷の当事者の会への参加を勧める。
- ⑤ 抑うつ状態が疑われることを主治医に報告する。

問139 74歳の女性。単身生活で、就労はしていない。最近物忘れがひどいと総合病院の内科を受診した。内科医から公認心理師に心理的アセスメントの依頼があった。精神疾患の既往歴はなく、神経学的異常もみられない。以前から高血圧症を指摘されていたが、現在はコントロールされている。頭部CT検査で異常はなく、改訂長谷川式簡易知能評価スケール〈HDS-R〉は21点であった。

この時点で公認心理師が行う心理検査として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① CAPS
- ② CPT
- ③ MMPI
- ④ WMS-R
- ⑤ Y-BOCS

問140 22歳の女性A。Aは職場での人間関係における不適応感を訴えて精神科を受診した。ときどき休みながらではあるが勤務は継続している。親と仲が悪いので2年前から単身生活をしているとのことである。公認心理師が主治医から心理的アセスメントとして、YG法、BDI-II、WAIS-IVの実施を依頼された。YG法ではE型を示し、BDI-IIの得点は19点で希死念慮はない。WAIS-IVの全検査IQは98であったが、言語理解指標と処理速度指標との間に大きな差があった。

公認心理師が引き続き行う対応として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① MMSEを実施する。
- ② 田中ビネー知能検査Vを追加する。
- ③ 家族から情報を収集したいとAに伝える。
- ④ 重篤なうつ状態であると主治医に伝える。
- ⑤ 生育歴についての情報をAから聴き取る。

問141 19歳の男性 A、大学1年生。Aは将来に希望が持てないと学生相談室に来室した。「目指していた大学は全て不合格だったので、一浪で不本意ながらこの大学に入学した。この大学を卒業しても、名の知れた企業には入れないし、就職できてもずっと平社員で結婚もできない。自分の将来に絶望している」と述べた。

Aに対する社会構成主義的立場からのアプローチとして、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 不本意な入学と挫折の心理について心理教育を行う。
- ② Aの将来への絶望について無知の姿勢で教えてもらう。
- ③ Aの劣等感がどのように作り出されたのかを探索させる。
- ④ 学歴社会の弊害とエリート主義の社会的背景について説明する。
- ⑤ Aの思考のパターンがどのように悲観的な感情を作り出すのかを指摘する。

問142 47歳の男性A。Aは、長年の飲酒、食習慣及び喫煙が原因で、生活習慣病が悪化していた。主治医はこれらの習慣は簡単には変えられないため、院内の公認心理師と共にじっくりと取り組むようカウンセリングをAに勧めた。Aは「酒もたばこも生活の一部だ」と話す一方で、「自分の身体ことは心配なので、この2週間はたばこの本数を毎日20本から15本に減らし、1日の最初の1本を遅らせている。酒はやめる気はない」と言う。

Aの行動変容の段階を考慮した公認心理師の対応として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 禁酒も始めるように促す。
- ② 生活習慣病への意識を向上させる。
- ③ 禁煙のための具体的な計画を立てる。
- ④ 飲酒と喫煙の害について心理教育を行う。
- ⑤ 喫煙本数が増えないように現在の自分なりの制限を継続させる。

問143 13歳の男子A、中学1年生。Aは両親と2つ上の兄Bと暮らしている。両親は、AとBが幼い頃から、多くの学習塾に通わせるなどして中学受験を目指させた。Bは志望校に合格したが、Aは不合格であった。両親は「お前は出来そこないだ。これからは死ぬ気で勉強しろ」とAを繰り返しなじった。次第に両親は「お前はBとは違って負け犬だ。負け犬の顔など見たくない」と言い、Aに別室で一人で食事をさせたり、小遣いを与えなかったりし始めた。

両親の行為は虐待種別の何に当たるか、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 教育的虐待
- ② 経済的虐待
- ③ 身体的虐待
- ④ 心理的虐待
- ⑤ ネグレクト

問144 9歳の男児A、小学2年生。Aは実母と継父との三人暮らしであったが、ネグレクトと継父からの身体的虐待のため、児童相談所に一時保護された。入所当初は、いつもきょろきょろと周囲をうかがっていて落ち着かず、夜は悪夢でうなされることが多かった。入所1週間後の就寝時、男性指導員がAを居室に連れて行こうとして手を取ったところ、急に大声で叫び、周辺にあるものを放り投げ、頭を壁に打ち付け始めた。男性指導員はAに落ち着くよう促したが、なかなか行動が鎮まらなかった。しばらくして行動は止んだが、無表情となって、立ちすくんだままであった。声をかけるとようやく頷いた。

Aの行動の解釈として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 男性指導員への試し行動
- ② フラッシュバックによる混乱
- ③ 慣れない生活の場での情緒の混乱
- ④ 抑圧されていた攻撃的感情の表出
- ⑤ 反抗挑戦性障害にみられる権威者に対する反発

問145 中学1年生の数学教科担任 A は、方程式の単元で困難度の異なる計算問題 30 問が印刷されたプリントを授業中に用いることを考えた。その際、最初から少しずつ難しくなるように問題を配置し、生徒が積極的に解答を書き込めるような工夫をした。また、模範解答も用意した。さらに、授業中には自分のペースで取り組めるような時間を設定することにした。

このプリントを用いた A の授業をプログラム学習の原理に沿ったものにするために必要なこととして、最も適切なものを 1 つ選べ。

- ① グループで答え合わせをする時間を設ける。
- ② 解答するための 1 問当たりの制限時間を生徒に設定させる。
- ③ 1 問ずつ解答した直後に、答え合わせをするように指示する。
- ④ 計算問題が苦手な生徒に対しては、教師と一緒に答え合わせを行う。
- ⑤ 全ての問題に正しく解答した生徒から休み時間にしてよいと告げる。

問146 14歳の男子 A、中学2年生。Aは中学1年生のときに比べ、学習に対して積極的に取り組み、成績が全体的に上がった。1学期の成績評定は国語と社会が高く、数学と体育は他の教科と比べて低かった。Aは中学1年生のときは幅広い交友関係があったが、現在は特定の友人と親しくしている。何事に対しても真面目に取り組み、クラスメイトからも信頼されているが、自信がなく不安な様子もみられる。

Aについてのこれらの情報は、どのような評価に基づくか、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 診断的評価と相対評価
- ② 縦断的個人内評価と相対評価
- ③ 診断的評価と横断的個人内評価
- ④ 診断的評価と縦断的個人内評価
- ⑤ 縦断的個人内評価と横断的個人内評価

問147 75歳の女性A。Aは相談したいことがあると精神保健福祉センターに来所し、公認心理師が対応した。Aは、45歳の長男Bと二人暮らしで、Bは覚醒剤の自己使用により保護観察付執行猶予中だという。「最近、Bが私の年金を勝手に持ち出して使ってしまうようになった。そのため生活費にも事欠いている。財布からお金が何度もなくなっているし、Bの帰りが遅くなった。Bは覚醒剤を使用しているのではないか。Bに恨まれるのが怖くて保護司に言えないでいる。Bを何とかしてくれないか」との相談であった。

公認心理師の対応として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 高齢者虐待のおそれがあるとして、市町村に通報する。
- ② Aの話が本当かどうかを確認するため、しばらく継続して来所するよう提案する。
- ③ Bの行為について、高齢者虐待防止法違反として、警察に通報し立件してもらう。
- ④ Bが覚醒剤を使用している可能性が高いので、対応してもらうよう保護観察所に情報を提供する。
- ⑤ Bの行為は高齢者虐待に該当しないため、覚醒剤乱用の疑いがあるとして、Aから担当保護司に相談するよう助言する。

(注：「高齢者虐待防止法」とは、「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」である。)

問148 30歳の女性A、会社員。ストレスチェックの結果、高ストレス者に該当するかどうかを補足的な面接で決定することになり、公認心理師がAの面接を行った。Aのストレスプロフィールは以下のとおりであった。「心理的な仕事の負担」は低い。「技能の活用度」、「仕事の適性度」及び「働きがい」が低い。「職場の対人関係のストレス」が高い。「上司からのサポート」と「同僚からのサポート」が低い。ストレス反応では、活気に乏しく疲労感と抑うつ感が高い。「仕事や生活の満足度」と「家族や友人からのサポート」が低い。

ストレスプロフィールを踏まえ、面接で把握すべき事項として、最も優先度の低いものを1つ選べ。

- ① 労働時間を尋ねる。
- ② 休日の過ごし方を尋ねる。
- ③ キャリアの問題を抱えていないか尋ねる。
- ④ 上司や同僚との人間関係について尋ねる。
- ⑤ 疲労感と抑うつ感は、いつ頃から自覚し始め、どの程度持続しているのかを尋ねる。

問149 14歳の女子A、中学2年生。Aは、クラスメイトのBが複数の生徒から無視されたり、教科書を隠されるなどの嫌がらせを受けたりしていることをスクールカウンセラーに相談した。Aはこのような状況を何とかしてほしいが、自分が相談したことは内緒にしてほしいと強く希望している。

現時点でのスクールカウンセラーの対応として、不適切なものを1つ選べ。

- ① Bから詳しい事情を聞く。
- ② Aが相談に来た勇気を認める。
- ③ Aの承諾を得て、担任教師に連絡する。
- ④ Aからいじめの事実について詳しく聞く。
- ⑤ 客観的に状況を把握するために、クラスの様子を見に行く。

問150 25歳の女性A。Aは夫から暴力を受け、電話連絡や金銭使用を制限されて、配偶者暴力相談支援センターに逃げ込むが、すぐに夫のもとに戻り同居するということを何回も繰り返していた。今回も夫の暴力で腕を骨折し、同センターに保護された。Aは日中ぼんやりとし、名前を呼ばれても気づかないことがある。外出すると、自分の居場所が分からなくなる。夫から殴られる夢を見て眠れない、いらいらして周囲に当たり散らすなどの様子がみられる。その一方で、「夫は今頃反省している。これまで何度も暴力の後に優しくしてくれた」と言い、「夫のもとに戻る」と言い出すこともある。

Aの状況から考えられることとして、不適切なものを1つ選べ。

- ① 夫との共依存関係がある。
- ② 夫婦は常に高い緊張関係にある。
- ③ 心的外傷後ストレス障害〈PTSD〉が疑われる。
- ④ Aは、夫の暴力を愛情表現の1つと認知している。
- ⑤ ドゥルース・モデルと言われる「パワーとコントロール」の構造が見受けられる。

問151 50歳の男性 A、外回りの医薬品営業職。最近急に同僚が大量退職したことにより、担当する顧客が増え、前月の時間外労働は100時間を超えた。深夜早朝の勤務も多く、睡眠不足で業務にも支障が出始めている。このまま仕事を続けていく自信が持てず、休日にもよく眠れなくなってきた。人事部から配布された疲労蓄積度自己診断チェックリストに回答したところ、疲労の蓄積が認められるという判定を受けた。Aは会社の健康管理室を訪れ、公認心理師 B に詳しい事情を話した。

このときの B の対応として、最も優先されるものを1つ選べ。

- ① HAM-D を実施する。
- ② 産業医との面接を強く勧める。
- ③ 継続的に B に相談に来ることを勧める。
- ④ 仕事を休んでゆっくりするよう助言する。

問152 58歳の男性 A。A は仕事の繁忙期に寝つきが悪くなり、近所の内科で2か月前から睡眠薬を処方され服用していた。最近入床から1時間以上たっても眠れない日が増え、中途覚醒も認められるようになった。日中の疲労感が強くなってきたため、心療内科を受診した。不眠以外の精神疾患や身体疾患は認められず、主治医から公認心理師に心理的支援の指示があった。

A への対応として、適切なものを2つ選べ。

- ① 認知行動療法を勧める。
- ② 筋弛緩法を実践するように勧める。
- ③ これまでよりも早めに就床するように勧める。
- ④ 中途覚醒した際に寢床に留まるように勧める。
- ⑤ 夜中に起きた際には時計で時刻を確認するように勧める。

問153 85歳の男性A。Aは一人暮らしで、介護保険は申請しておらず、認知症の診断もされていない。しかし、身辺自立はしているものの、室内の清掃が行き届かず、物を溜め込みがちであるので、地域ケア会議で、ホームヘルパーによる清潔管理を行っていく方針を取り決め、実施していた。ヘルパーを受け入れているようにみえたが、2か月が経過した頃、Aからホームヘルパーの利用を終わりにしたいと突然申出があった。

地域包括支援センターの対応として、適切なものを2つ選べ。

- ① 基本チェックリストの再確認
- ② グループホームへの入居の提案
- ③ 小規模多機能型居宅サービスの利用
- ④ 地域ケア会議での支援方法の再検討
- ⑤ 定期巡回・随時対応型訪問サービスの利用

問154 35歳の男性 A、会社員。うつ病の診断で休職中である。抑うつ感は改善したが、まだ夜間よく眠れず、朝起きづらく、昼間に眠気がある。通院している病院に勤務する公認心理師が A と面接を行っていたところ、A は「主治医には伝えていないが、同僚に取り残される不安があり、早々に復職をしたい。職場に行けば、昼間は起きていられると思う」と話した。

このときの公認心理師の対応として、適切なものを2つ選べ。

- ① 試し出勤制度を利用するよう助言する。
- ② まだ復職ができるほど十分に回復していないことを説明する。
- ③ A に早々に復職したいという焦る気持ちがあることを受け止める。
- ④ 同僚に取り残される不安については、これを否定して安心させる。
- ⑤ 主治医に職場復帰可能とする診断書を作成してもらうよう助言する。

